

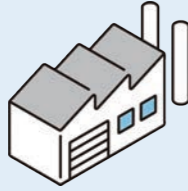
### ●野生鳥獣による被害の軽減

ツキノワグマなどの野生鳥獣への対応については、専門家による集落環境診断に基づく緩衝帯の整備や侵入防止柵の設置を進め、農作物などの被害を軽減します。

また、増加する市街地などへの野生鳥獣の出没に対応するため、鳥獣被害対策実施隊や県、警察などの関係機関と連携し、緊急銃猟制度による捕獲も含めて、市民の皆さんの安全確保を最優先として対応します。

### ●地域経済の活性化

企業誘致と地元企業の成長を両輪として進め、地域の雇用創出と産業の裾野を拡大するための基盤として、新工業団地の整備を計画的に進めます。



また、4月から開催される「ふくしまdestinationキャンペーン」を好機とし、鶴ヶ城を核として、本市の歴史・文化・自然・食と農産物の魅力を広く発信し、宿泊や域内周遊の拡大を図ります。

さらに、市内企業の認知度向上と若者の交流機会を創出し、雇用促進と定着に取り組むとともに、地場製品の取引拡大や、「会津若松まちなか案内所」の積極的活用を図ります。



市民の安全を最優先に野生鳥獣に対応します  
(写真は、電気柵を設置している様子)

## 政策目標 2

強みを活かす  
しごとづくり

### 「強みを活かすしごとづくり」のための予算

#### 【農林業】

- ▶地域農業の担い手を確保・育成するために……………4,883万円
- ▶野生鳥獣による農作物被害などを防止するために……………3,611万円

#### 【観光・商工】

- ▶地域内経済や中心市街地の活性化を図るために……………6,556万円
- ▶新たな工業団地を整備するために……………2億951万円
- ▶観光誘客を推進するために…2億5,953万円

## 政策目標 3

安心、共生の  
くらしづくり



支援を必要とする人を地域全体で見守ります

### 「安心、共生のくらしづくり」のための予算

#### 【福祉・衛生】

- ▶分野横断的な支援体制の充実のために……………883万円
- ▶介護事業所の人材確保のために……………301万円
- ▶ゼロカーボンシティ会津若松の実現のために……………13億2,545万円

### ●地域共生社会の実現

地域生活課題が複雑化する中、支援を必要とする人を早期に把握し、相談につながる体制を充実させます。また、介護や障がい、子ども・子育て、生活困窮といった、分野を超えた連携を深めながら、世帯全体を見据えた伴走型支援を推進します。



### ●ゼロカーボンシティ会津若松の実現

4月からの家庭ごみ処理有料化により、ごみの分別と減量を全ての市民の皆さんによる継続的な取り組みとするとともに、新たに、ごみ処理手数料を財源とした基金を設置し、資源循環型社会の形成や衛生的な生活環境の保全、地球温暖化対策などを持続的に推進します。



## —特集—

# 令和8年度 施政方針と予算

市民の皆さんがお互いを尊重し合い、自分らしく、幸せな暮らしを営むことができ、にぎわいと活力ある会津若松市の実現に向けて、市では令和8年度も引き続き、さまざまな施策に取り組んでいきます。

また、第7次総合計画の最終年度となる令和8年度は、これまでの取り組みを総括し、新たな総合計画を策定していきます。

ここでは、第7次総合計画に掲げる5つの政策目標と主な取り組みを紹介します。

●問い合わせ…企画調整課(☎39-1201)、財政課(☎39-1203)



### ●安心して子どもを産み育てられる環境の充実

所得にかかわらず、教育・保育施設における第2子以降の保育料を無償にします。

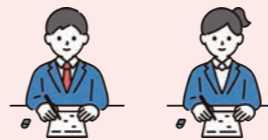
また、小学校の給食費については、無償化を実施します。中学校については、引き続き、物価高騰分を支援することで、保護者の負担を軽減します。



切れ目のないサポートで、子育て世帯の負担を減らします

### ●学力向上に向けた教育環境の充実

新たな学力調査により実態を把握し、各学校の学力向上計画の見直しや指導改善につなげます。



### ●市民協働と社会参画の推進

5月から、栄町第二庁舎を市民活動支援や男女共同参画推進などの拠点である「市民協働プラザ」として供用し、地域の課題解決に向けた参画・協働によるまちづくりを推進します。

### 「未来につなぐひとづくり」のための予算

#### 【子ども・子育て】

- ▶乳幼児の健康のために……………3,344万円
- ▶特定教育・保育施設などへの給付のために……………47億539万円
- ▶子育て環境の充実のために…9億7,301万円

#### 【教育】

- ▶児童生徒の学習意欲や学力の向上のために……………5,275万円

- ▶地域総ぐるみで子どもたちの成長や学びを支える環境づくりのために……………2,603万円

- ▶学校給食費の保護者負担軽減のために……………6億4,229万円

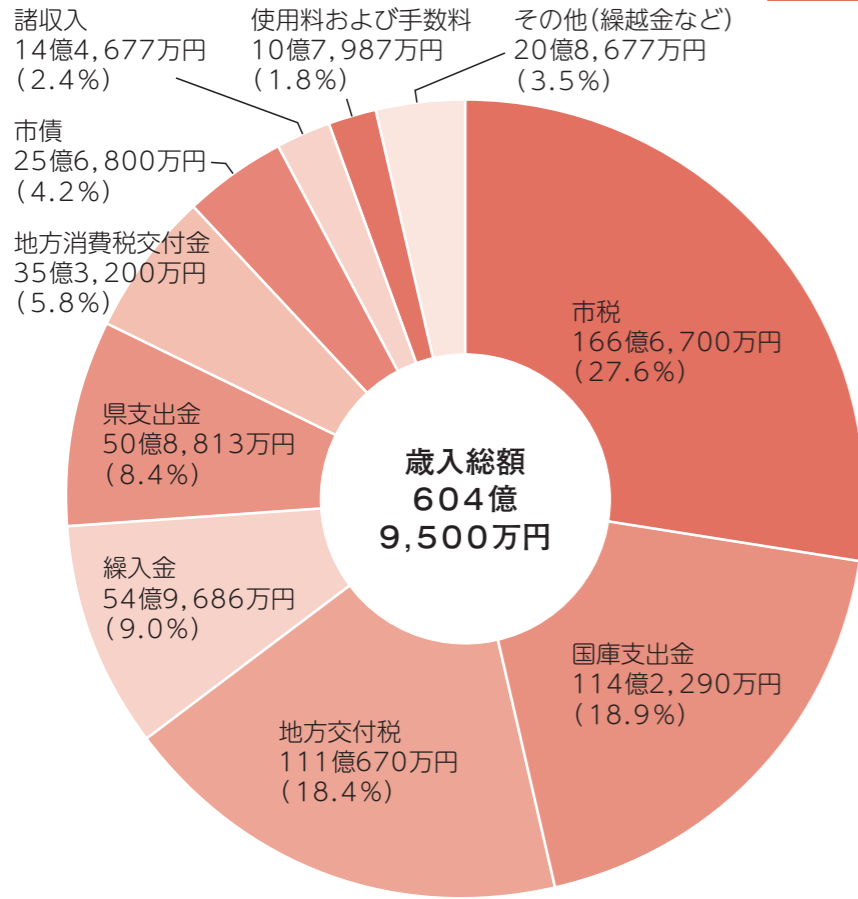
#### 【社会参画】

- ▶市民による地域づくり活動を後押しするために……………6,603万円

## 1

未来につなぐ  
ひとづくり

一般会計の予算の内訳



歳入

歳出

**令和8年度の予算の概要**

本年度の一般会計の予算は、604億9500万円です。市民の皆さんの暮らしを守り、未来に向けて安心して暮らせるまちづくりを進めていきます。

●問い合わせ：財政課 ☎ 39・1203

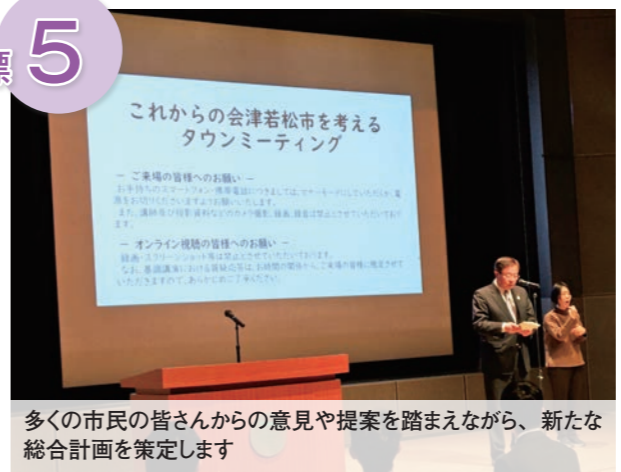


特別会計の予算

会計名	予算額
国民健康保険	103億4,369万円
観光施設事業	1億4,891万円
地方卸売市場事業	7,642万円
扇町土地区画整理事業	2億5,997万円
介護保険	130億3,244万円
三本松地区宅地整備事業	2,662万円
後期高齢者医療	19億7,204万円
工業団地整備事業	2億951万円

政策目標 5

豊かで魅力ある地域づくり



**「豊かで魅力ある地域づくり」のための予算**

**【まちの拠点】**

- ▶ 県立病院跡地の整備のために……………11億8,456万円
- ▶ 会津若松駅前の整備のために……………4,858万円

**【地域振興】**

- ▶ 移住・二地域居住の推進のために……………1億5,222万円

**【行政運営】**

- ▶ ふるさと納税の推進のために……………2億6,981万円
- ▶ 行政サービスの向上のために……………2,769万円



**「安全、快適な基盤づくり」のための予算**

**【防災】**

- ▶ 防災のまちづくりを推進するために……………5,139万円

**【基盤整備】**

- ▶ 道路や水路の維持・整備のために……………9億1,893万円
- ▶ 市道などの除雪のために……………8億7,517万円

**【公共交通】**

- ▶ 地域公共交通の活性化・利便性向上のために……………2億4,873万円

**【住宅・住環境】**

- ▶ 空き家対策のために……………2,775万円

政策目標 4

安全、快適な基盤づくり

**●まちの拠点の整備**

県立病院跡地での多世代交流や子育て支援施設の整備を着実に進めます。会津若松駅前の基盤整備については、基本計画に基づき、駅前広場や周辺道路などの基本設計を進め、関係者・地域の皆さんと連携しながら実証や検討を重ね、事業着手に向けて取り組みます。

**●「選ばれるまち」の実現**

若い世代が「このまちで暮らしたい」「ここで働き、学び、挑戦したい」と感じ、子育てや教育、仕事など、生活のあらゆる場面で「選ばれるまち」になるよう、新たな総合計画の策定を進めます。

また、ふるさと納税の返礼品の充実などにより、寄附受入額を増加させ、地域経済の活性化につなげます。

さらに、住まい・仕事・子育てをパッケージとしたUターンや移住支援を活用した定住人口の確保に努めます。加えて、二地域居住や交流などを通じて継続的に本市と関わる人の増加を図り、地域の活力の維持・向上につなげます。